

提供日 2024/03/15  
タイトル インフルエンザの流行が再び注意報レベルとなりました！  
担当 健康福祉部 感染症対策局感染症対策課  
連絡先 ふじのくに感染症管理センター  
TEL 055-928-7272



### －危機管理情報－

## ～インフルエンザが再び注意報レベルとなりました！～

2024年第10週（3/4～3/10）の感染症発生动向調査で、静岡県内のインフルエンザの定点当たり患者報告数が **11.96人**に増加し、**注意報レベルの基準値（定点当たりの患者報告数10人）**を超えました。今後、流行が長期間持続することも考えられますので、**県民の皆様には、咳エチケットや換気、手洗いといった感染拡大防止対策に努めていただくとともに、ワクチン接種を検討していただくようお願いいたします。**

12.96 ⇒ 9.40 ⇒ 8.47 ⇒ **11.96**  
(2/12～2/18) (2/19～2/25) (2/26～3/3) (3/4～3/10)

#### <参考>

- インフルエンザの定点当たりの報告数とは、県内の小児科、内科併せて139の定点医療機関の1医療機関当たりの1週間の患者数です。
- 流行開始の目安とされている報告数は1、注意報レベルは10、警報レベルの開始は30、警報レベルの終息は10です。
- 今シーズンの県内のインフルエンザ流行状況は、シーズン入りした2023年第36週（9/4～9/10）にすでに流行レベル（4.79）となっており、第40週（10/2～10/8）に注意報レベル（10.08）、第47週（11/20～11/26）に警報レベル（30.96）となり、2024年第8週（2/19～2/25）に警報レベルが終息（9.40）していました。
- 同一シーズン内で、警報レベルが終息した後、再度、注意報レベルとなるのは、記録が残る2002年以降、初めてです。
- インフルエンザが原因と考えられる学級閉鎖の数は、記録が残る2012-2013シーズン以降のシーズン合計で、すでに**閉鎖学級数、閉鎖学級の在籍者数、患者数、欠席者数が過去最高**となっています。
- 流行している型は、2023年の末頃までは90%以上がA型でしたが、2024年からB型が増え続けており、**現在、流行している型は90%以上がB型**です。
- インフルエンザのワクチンには、A型H1亜型、A型H3亜型、B型ビクトリア系統、B型山形系統の4種類が含まれています。接種すれば必ず感染しないというわけではありませんが、症状を抑えられ、重症化のリスクが減少します。

近年のインフルエンザによる学級閉鎖状況

区分	閉鎖学級数	閉鎖学級の在籍者数	患者数	欠席者数	初発年月日
2023-2024 (R5-R6)	4,799	137,976	43,672	40,517	9月4日
	2023-2024(R5-R6)は2023.9/4~2024.3/14の数値				
2022-2023 (R4-R5)	387	11,088	3,627	3,408	11月29日
2021-2022 (R3-R4)	報告なし				
2020-2021 (R2-R3)	報告なし				
2019-2020 (R1-R2)	1,118	31,047	10,015	9,129	9月2日
2018-2019 (H30-R1)	1,944	53,162	16,970	15,428	10月16日
2017-2018 (H29-H30)	2,598	71,307	22,729	20,403	9月25日
2016-2017 (H28-H29)	2,005	56,824	17,963	15,834	10月18日

2024年 定点医療機関から型別報告があった患者数の割合

週	インフルエンザA型		インフルエンザB型	
	報告数	割合	報告数	割合
第1週 (1/1~1/7)	429名	91.1%	42名	8.9%
第2週 (1/8~1/14)	614名	86.6%	95名	13.4%
第3週 (1/15~1/21)	714名	83.4%	142名	16.6%
第4週 (1/22~1/28)	569名	71.9%	222名	28.1%
第5週 (1/29~2/4)	435名	50.1%	434名	49.9%
第6週 (2/5~2/11)	273名	33.7%	538名	66.3%
第7週 (2/12~2/18)	135名	17.7%	626名	82.3%
第8週 (2/19~2/25)	82名	14.0%	502名	86.0%
第9週 (2/26~3/3)	60名	14.2%	362名	85.8%
第10週(3/4~3/10)	64名	8.8%	661名	91.2%

## ＜県民の皆様へ＞

### ワクチンの接種について

- インフルエンザによって高齢者や基礎疾患のある方は、重症化することがあり、乳幼児ではまれにインフルエンザ脳症を起こすことがあります。ワクチン接種により、死亡や入院の危険が減少するとされています。
- 今シーズンのインフルエンザワクチンの供給量は、昨シーズンの使用量を超える供給量となります。
- 65歳以上等の定期接種対象者で接種を希望する方は、お早めの接種をお願いします。
- 定期接種対象者以外でも、特に、基礎疾患のある方や、乳幼児、以前インフルエンザにかかってつらかった方は接種の御検討をお願いします。

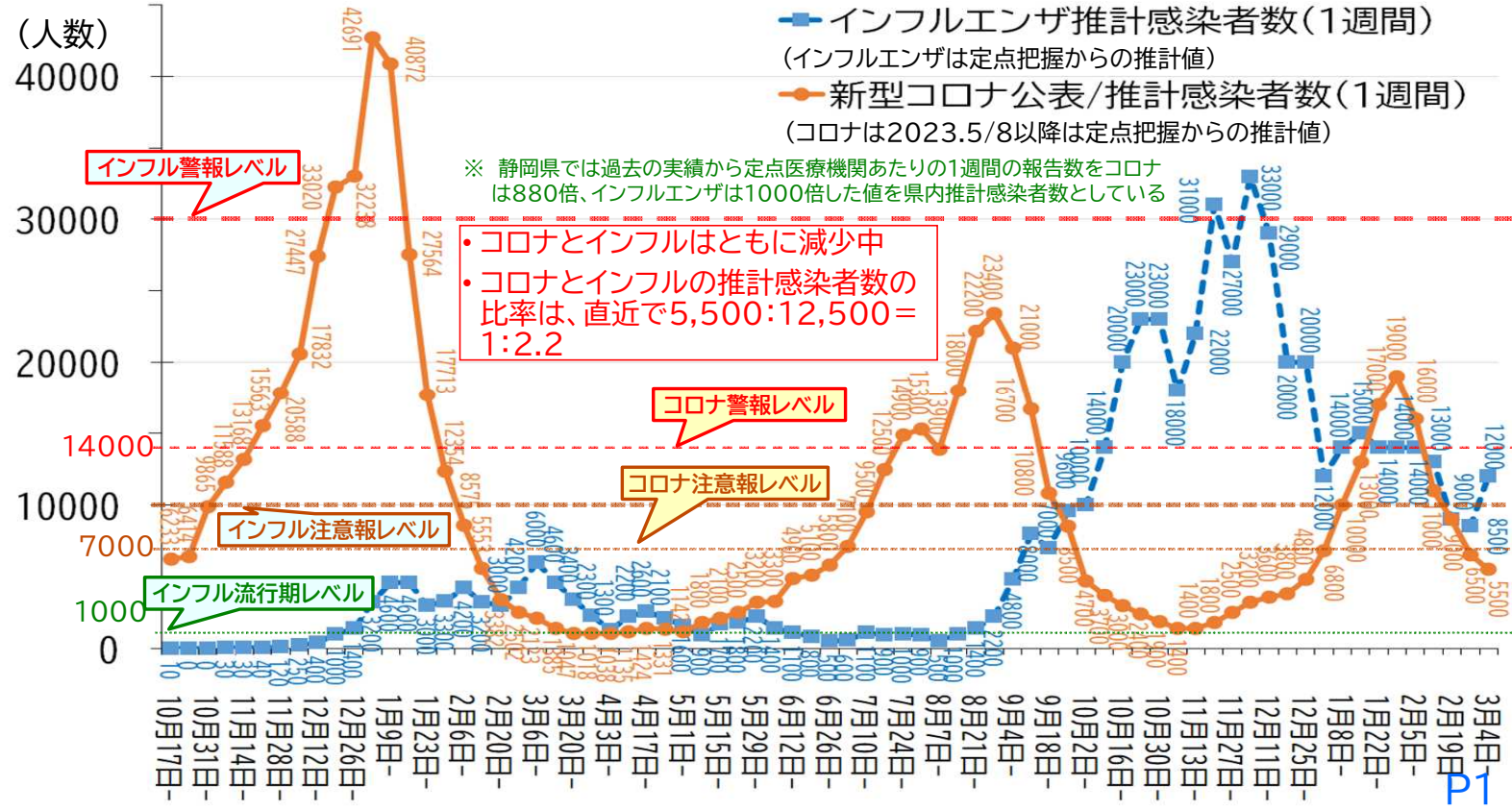
(インフルエンザワクチンの接種によって、インフルエンザの重症化を予防する効果や発症をある程度抑える効果が期待できる一方、接種時の体調によっては副反応などが生じる場合もありますので、かかりつけ医などと相談しつつ、接種を検討いただくようお願いいたします。)

- なお、インフルエンザワクチンと新型コロナワクチンは同時に接種できます。

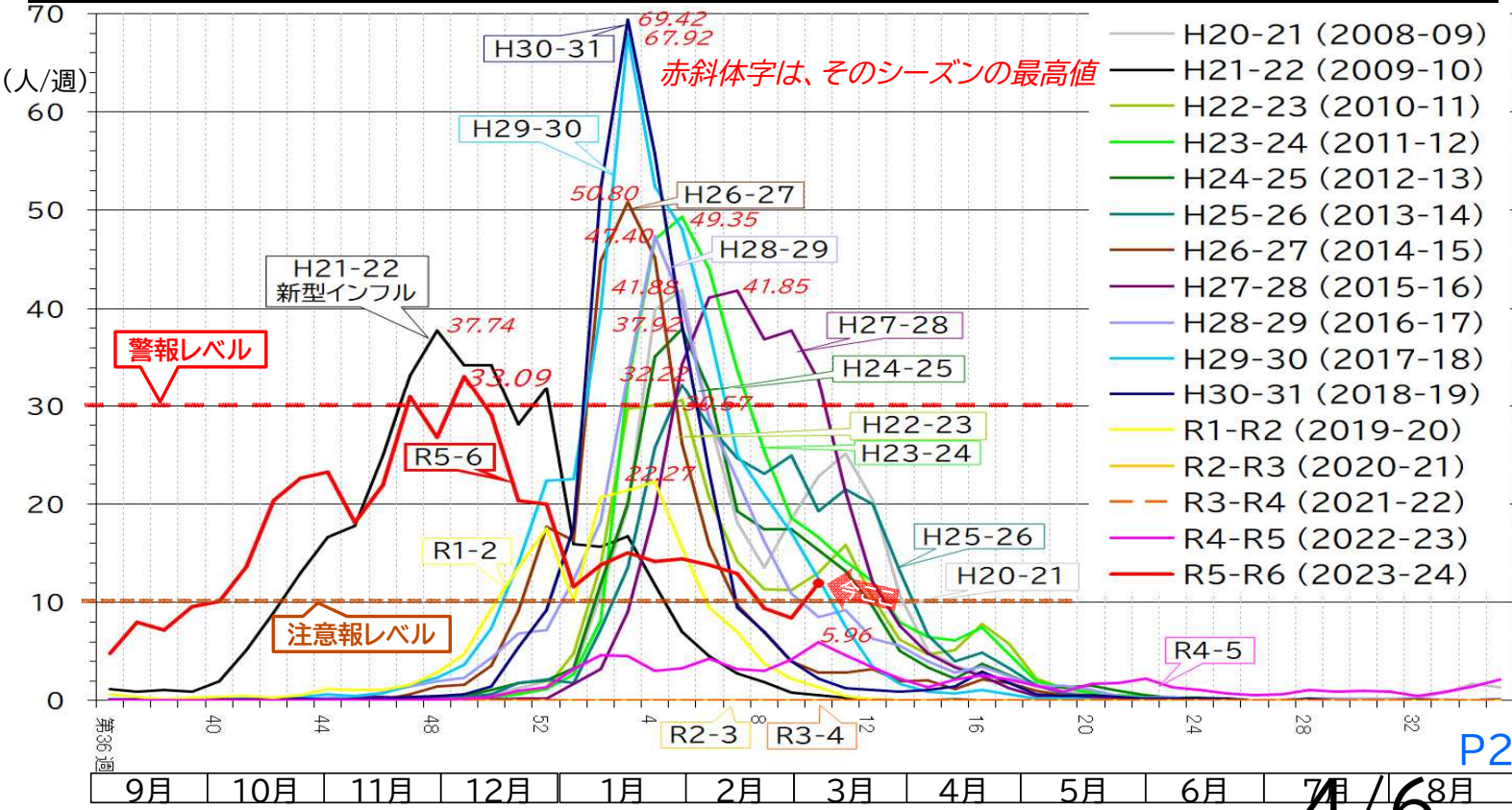
### 「うつらない」・「うつさない」ための取組の徹底

- 体調が悪い場合は、人が集まるイベントに参加することは控えましょう。
- 人混みでは、咳エチケット（咳やくしゃみが出るときは、マスクを着用するか、ティッシュや腕の内側などで口と鼻を覆い顔を他の人に向けない）を励行しましょう
- インフルエンザと診断されたら医師の指示を守って服薬し、外出を控えるとともに、家庭内でも咳エチケットを徹底し、十分な休養をとりましょう
- 人が集まる室内では、十分に換気をしましょう
- こまめに手洗いをしましょう
- なるべく密を避けましょう
- 十分な栄養と睡眠をとり、健康管理につとめましょう

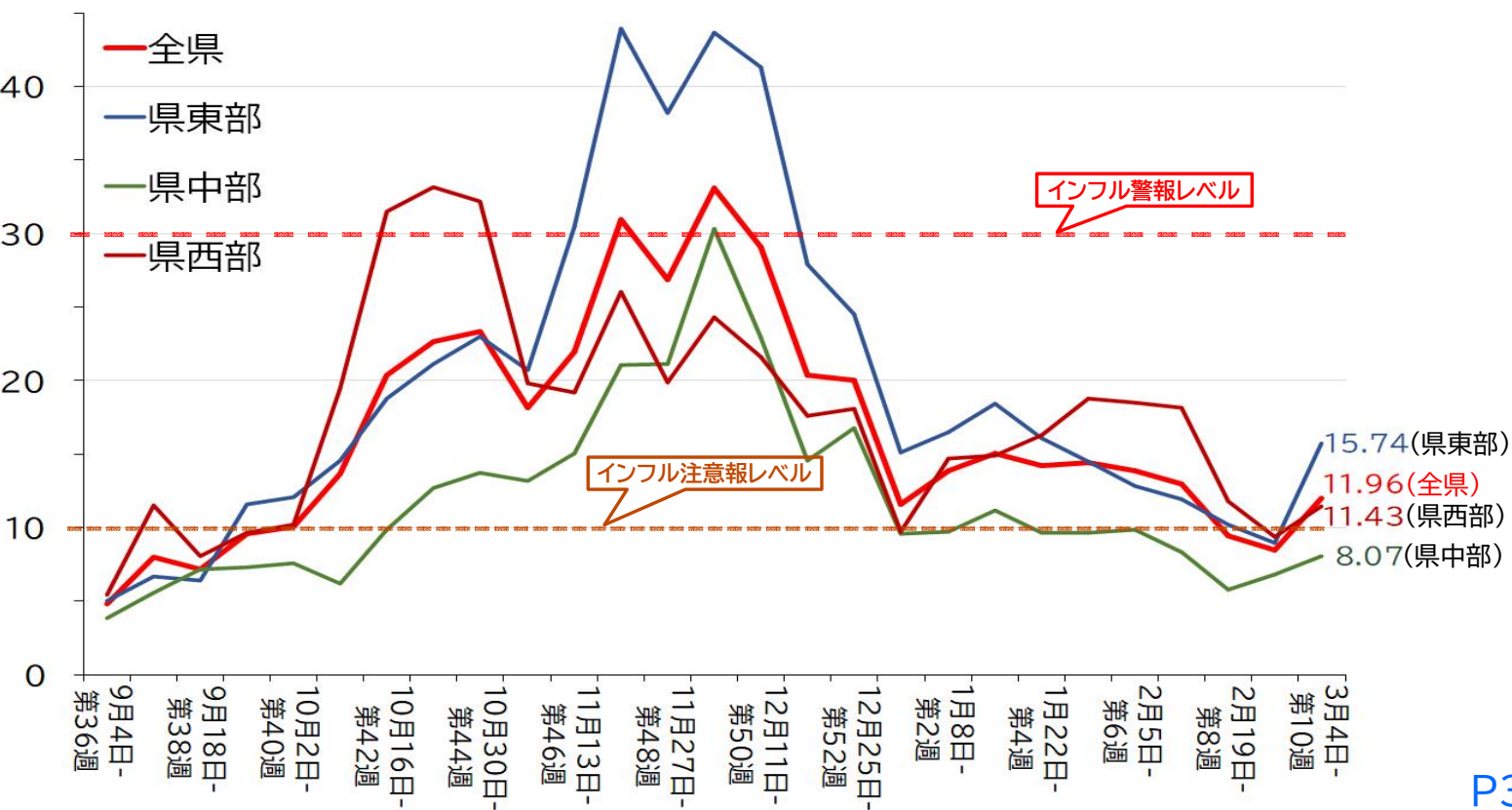
# 静岡県 新型コロナとインフルエンザの流行の状況 (2022.10/24~2024.3/10)



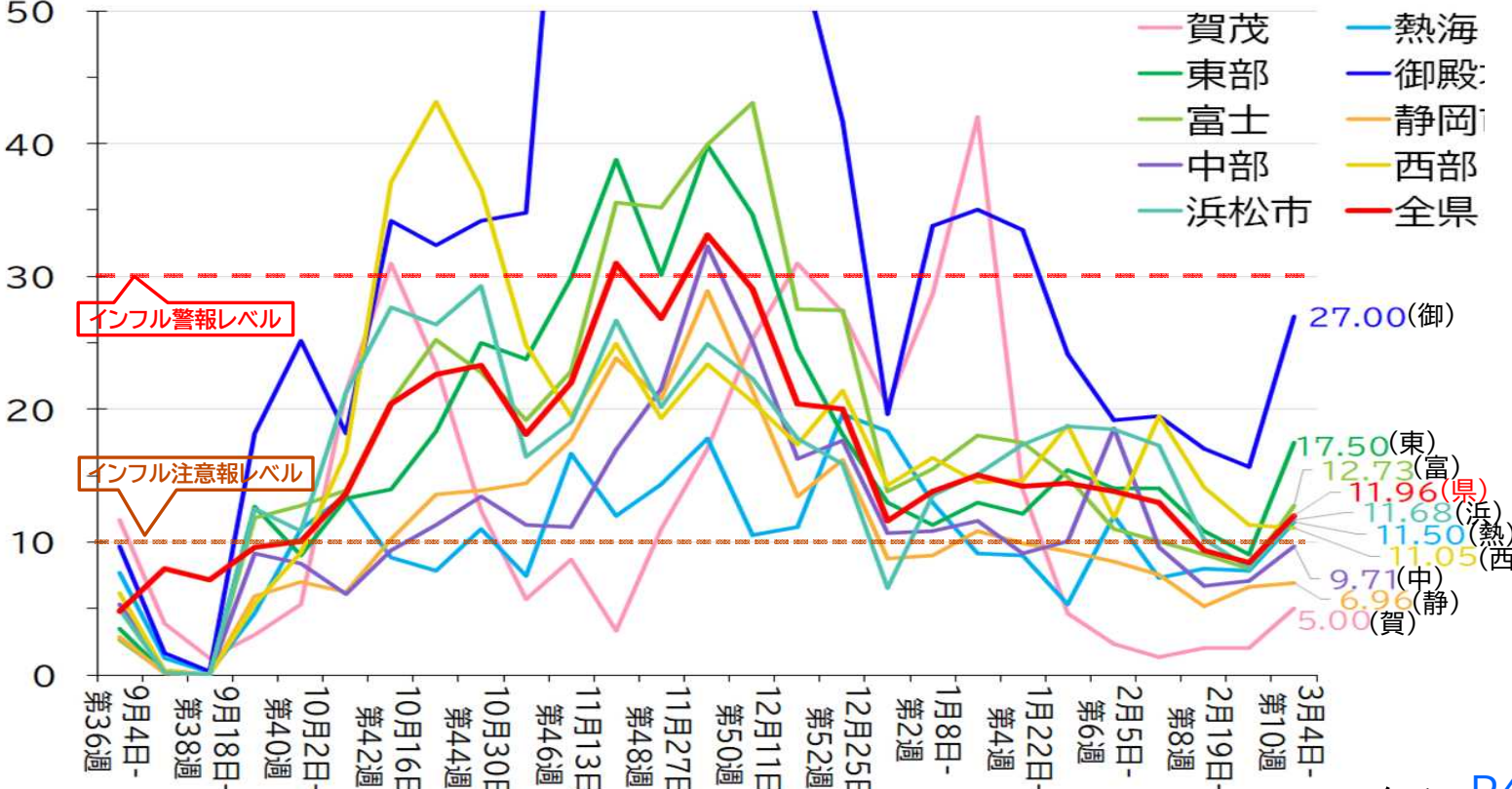
# 静岡県 定点医療機関インフルエンザ患者報告 過去16シーズンの比較



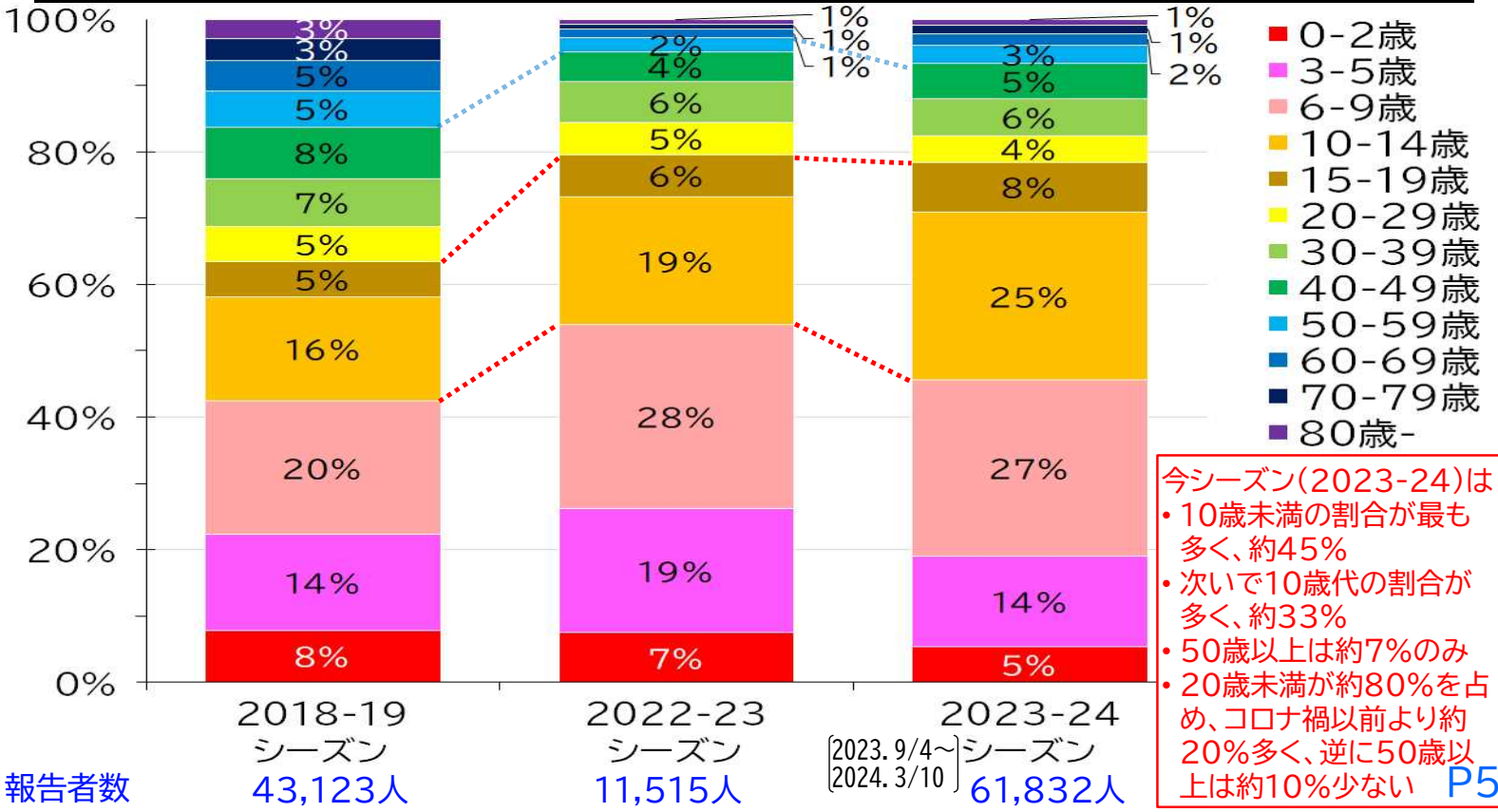
静岡県 東中西部地域別 定点医療機関あたりインフルエンザ患者数 今季(3/10まで)



静岡県 保健所管内別 定点医療機関あたりインフルエンザ患者数 今季(3/10まで)



静岡県 定点医療機関インフルエンザ患者報告 年齢別割合(今季、昨季とコロナ禍前2018-19季の比較)



静岡県 定点医療機関インフルエンザ患者報告 年齢別報告数 今季(3/10まで)

